

プログラム 8月27日(土)

第1会場 4F 国際会議室

8:50~9:00 開会挨拶(ビデオ講演)

阿部 理一郎(新潟大)

9:00~11:00 シンポジウム1【重症薬疹—基礎から臨床まで—】

座長:高橋 勇人(慶應義塾大)
濱 菜摘(新潟大)SY1-1 新規ネクローシス様細胞死と疾患
中野 裕康(東邦大生化学講座)SY1-2 重症薬疹 SJS/TEN の bench-to-bedside を目指して
小川 陽一(山梨大)SY1-3 Harnessing Translational Immunology to Combat Severe Drug Reactions
Sherrie Divito¹, Pranali Shah¹, George Romar¹, Artur Manukyan², Wei-Che Ko²,
Manuel Garber²
(¹Department of Dermatology, Brigham and Women's Hospital, Boston, MA, USA,
²Bioinformatics Core, University of Massachusetts Medical School, Worcester, MA,
USA)SY1-4 医薬品による薬疹に対する安全対策
上田 隆宏(医薬品医療機器総合機構医薬品安全対策第一部)

11:10~11:30 会長講演

PL 新潟で What's New?
阿部 理一郎(新潟大)

11:30~11:40 記念写真撮影、次期会長挨拶

11:50~12:50 ランチョンセミナー1

座長:山本 明美(旭川医大)

LS1 アトピー性皮膚炎における皮膚バリアの重要性と長期寛解維持を見据えた治療戦略
乃村 俊史(筑波大)

共催:サノフィ株式会社

13:00~15:00 シンポジウム 3 【化粧品による皮膚障害を見逃さない・防ぐために】

座長:伊藤 明子 (ながたクリニック)

矢上 晶子 (藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科)

- SY3-1 化粧品による接触皮膚炎～注意すべきアレルゲンと診断方法～
矢上 晶子(藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科)
- SY3-2 化粧品による接触蕁麻疹と原因検索へのアプローチ
伊藤 裕子(池袋西口ふくろう皮膚科クリニック 東京都豊島区)
- SY3-3 化粧品に求められる安全性保証の実態
池田 英史(大阪大大学院薬学研究科/株式会社マンダム)
- SY3-4 安全なヘアカラーリングのために
中村 政志^{1,2}、矢上 晶子³、伊藤 明子^{1,4}、西岡 和恵⁵、原 和宏^{2,6}、松永 佳世子¹
(¹藤田医大アレルギー疾患対策医療学、²ホーユー株式会社総合研究所、
³藤田医大総合アレルギー科、⁴ながたクリニック 新潟県新潟市、
⁵ジョイ皮ふ科クリニック 山口県山陽小野田市、⁶日本ヘアカラー工業会)

15:20~16:20 教育講演 1 【Skin research】

Chair:Toshifumi Nomura (Tsukuba University)

- EL1-1 Understanding TGF- β Signaling During Melanoma Progression :
Identification of pan-cancer mechanisms
Alain Mauviel(Institute Curie, Centre de Recherche, Team TGF- β and Oncogenesis,
Orsay, France)
- EL1-2 The Skin Aging Exposome.
Jean Krutmann(IUF-Leibniz Research Institute for Environmental Medicine,
Duesseldorf, Germany.)

16:35~17:35 教育講演 2 【Dermatology situation in overseas countries】

Chair:Hideyuki Ujiie (Hokkaido University)

- EL2-1 Academic Dermatology In The United States : Impact And Aftermath Of
COVID-19
Thomas J. Hornyak(Department of Dermatology, The Dr. Joseph Warren Burnett, Jr.
Professorship in Dermatology, Departments of Dermatology and
Biochemistry and Molecular Biology, University of Maryland
School of Medicine, Baltimore, USA/Research & Development,
VA Maryland Health Care System)
- EL2-2 Dermatology in Taiwan : The future is bright
Cheng-Che E. Lan(Department of Dermatology, Kaohsiung Medical University,
Taiwan)

第2会場 2F メインホール A

| | |
|-------------|---|
| 8:50~9:00 | 開会挨拶 (ビデオ講演) |
| | 阿部 理一郎(新潟大) |
| 9:00~11:00 | シンポジウム 2 【皮膚癌領域のトピックス—Bench to Bedside—】 |
| | 座長:竹之内 辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院) 前川 武雄 (自治医大) |
| SY2-1 | 有棘細胞癌のトピックスと課題 中村 善雄(慶應義塾大) |
| SY2-2 | 乳房外パジェット病のトピックス 田中 亮多(Cutaneous Biology Research Center, Massachusetts General Hospital, Boston, USA) |
| SY2-3 | 粘膜悪性黒色腫 野村 基雄(京都大腫瘍内科) |
| SY2-4 | Understanding melanoma biology to develop novel melanoma therapies Nikolas Haass(The University of Queensland Diamantina Institute, The University of Queensland, Brisbane, Australia) |
| 11:50~12:50 | ランチョンセミナー 2 |
| | 座長:川村 龍吉 (山梨大) |
| LS2 | Abrocitinib as a treatment for atopic dermatitis to achieve therapeutic goals Cheng-Che E. Lan(Kaohsiung Medical University Hospital and College of Medicine ; Taiwanese Dermatological Association) |
| | 共催:ファイザー株式会社 |
| 13:00~15:00 | シンポジウム 4 【新しい着眼による皮膚化粧品研究の進展】 |
| | 座長:大島 宏 (ポーラ化成工業株式会社フロンティアリサーチセンター) 阿部 理一郎 (新潟大) |
| SY4-1 | 皮膚計測・分析における AI をはじめとした数理統計手法の活用 水越 興治(ポーラ化成工業株式会社) |
| SY4-2 | 皮膚を傷つけずに表皮直下の血管網を可視化する~OCT Angiography 技術とその活用事例紹介~ 原 祐輔、二宮 真人、星野 拓馬、山下 豊信 (株式会社資生堂みらい開発研究所) |

SY4-3 皮膚科学分野における皮脂 RNA 解析技術の応用
井上 高良、桑野 哲矢、上原 裕也、矢野 路子、大矢 直樹、田中 翔大、上田 優衣、
高田 直人、八谷 輝、太田 宣康、高橋 慶人、村瀬 孝利
(花王株式会社生物科学研究所)

SY4-4 日本人のエイジング解析を目的とした長浜コホート研究
原田 康子¹、Latreille Julie²、Jdid Randa²、Gendronneau Gaelle²、Cazorla Gabriel²、
Lobley Anna³、Le Clerc Sigrid⁴、Muther Charlotte²、Lejeune Francois²、
Chelala Claude³、安藤 信裕¹、Forestier Sandra²、松田 文彦⁵
(¹合同会社シャネルR&I、²Chanel PB, Biological unit Pantin, France、
³Centre for Biomarkers and Biotherapeutics, Barts cancer institute, Queen Mary
University of London, United Kingdom、
⁴Bioinformatique et Applications, chaire de bioinformatique, CNAM, Paris, France、
⁵京都大大学院ゲノム医学研究センター)

15:20~16:20

スイーツセミナー 1

【JAK 阻害薬の登場でアトピー性皮膚炎治療はどう変わったか？】

座長:清水 忠道 (富山大)

大槻 マミ太郎 (自治医大)

SS1-1 最新のガイドラインを踏まえたアトピー性皮膚炎の治療戦略
氏家 英之(北海道大)

SS1-2 アトピー性皮膚炎治療におけるバリシチニブ活用方法の検討
天野 博雄(岩手医大)

共催:日本イーライリリー株式会社

16:35~17:35

イブニングセミナー 1 【アトピー性皮膚炎 Up to Date】

座長:片桐 一元 (獨協医大埼玉医療センター)

浅田 秀夫 (奈良県立医大)

ES1-1 表皮バリア機能とアトピー性皮膚炎の関係性、ウパダシチニブ使用経験から
井川 哲子(旭川医大)

ES1-2 症状ゼロを目指すアトピー性皮膚炎治療～ウパダシチニブの使いどころ～
茂木 精一郎(群馬大大学院医学系研究科)

共催:アッヴィ合同会社

第3会場

2F メインホール B

8:50~9:00

開会挨拶 (ビデオ講演)

阿部 理一郎(新潟大)

9:00~10:15 一般演題 1 【紅斑・紫斑・血管炎】

座長:小宮根 真弓 (自治医大)
井川 哲子 (旭川医大)

- O-1 COVID-19 関連を含む IgA 血管炎皮膚生検標本を使用した Neutrophil Extracellular Traps (NETs) の検証
川上 民裕¹、横山 華英¹、池田 高治¹、西端 友香²、益田 紗季子²、外丸 詩野³、石津 明洋²
¹東北医科薬科大、²北海道大大学院保健科学研究所病態解析学分野、³北海道大分子病理学
- O-2 アザシチジン投与後に改善した骨髄異形成症候群合併の難治性壊疽性膿皮症の 1 例
齊藤 和奏、三浦 慎平、井上 剛、渡辺 彩乃、天野 博雄
岩手医大
- O-3[†] 特発性血小板減少性紫斑病：舌の血腫(黒色斑：wet purpura)は緊急対応が必要である
中川 浩一¹、東田 理恵¹、松尾 彩子¹、岡林 綾²
¹大阪府済生会富田林病院、²和泉市立総合医療センター
- O-4 インフルエンザワクチン接種後に発症した好中球性皮膚症の 1 例
軽部 大希^{1,2}、藤田 悦子²、小宮根 真弓¹、大槻 マミ太郎¹
¹自治医大、²済生会宇都宮病院
- O-5 緑膿菌感染とるい瘦を伴う壊疽性膿皮症による難治性両下腿潰瘍の 1 例
勝又 文徳、小宮根 真弓、岡田 寛文、神谷 浩二、前川 武雄、大槻 マミ太郎
自治医大
- O-6[†] 全身性エリテマトーデス患者に発症した水疱型壊疽性膿皮症の 1 例
石川 真郷、草野 美沙希、則川 菜摘、佐藤 真由、伊藤 崇、菊池 信之、山本 俊幸
福島県立医大
- O-7 アバタセプト投与中にも関わらず下腿潰瘍を生じたリウマチ性血管炎の 2 例
本田 遼馬、末永 亜紗子、菊池 智子
九州中央病院

10:15~11:00 一般演題 2 【皮膚付属器疾患】

座長:菅野 恭子 (旭川医大)
小川 英作 (信州大)

- O-8 休止期脱毛と爪甲剥離を呈した Cronkhite-Canada 症候群の 1 例
横溝 紗佑里¹、野村 隼人¹、中川 裕貴¹、森実 真¹、衣笠 秀明²
¹岡山大、²岡山大消化器内科
- O-9[†] 当院における特発性後天性全身性無汗症 14 例の臨床的検討
宮原 華子、久保田 典子、古田 淳一、乃村 俊史
筑波大

- O-10 右頭頸部優位に生じた味覚性発汗の1例
奥澤 愛美、端本 宇志、磯江 美穂、佐藤 貴浩
防衛医大
- O-11 手掌多汗症に対するノンニードルインジェクターシステムを用いたA型ボツリヌス毒素局注療法の臨床的検討
渡辺 瞳、大嶋 雄一郎、柳下 武士、渡辺 大輔
愛知医大

11:50~12:50 ランチョンセミナー3
【乾癬の最新トピックス～免疫学・実臨床の視点から～】

座長:安田 正人(群馬大)
浅野 善英(東北大)

- LS3-1 neutrophil extracellular traps と乾癬
小川 陽一(山梨大)
- LS3-2 IL-23p19 阻害薬による乾癬治療:イルミア®の使用経験とポジショニング
渡部 大輔(岩手医大)

共催:サンファーマ株式会社

13:00~14:20 一般演題3【乳房外パジェット病、その他】

座長:安田 正人(群馬大)
大西 正純(岩手医大)

- O-12[†] 皮膚科を初回受診した男性乳癌の7例
中村 杏奈^{1,2}、片岡 和也^{1,3}、高塚 純子¹、竹之内 辰也¹
¹新潟県立がんセンター新潟病院、²新潟大、³富山大
- O-13 当科でプロプラノロールを導入した乳児血管腫10例
奥根 真里、石井 良征、乃村 俊史
筑波大
- O-14[†] 肛門管癌からのパジェット現象をきたした10例の考察
小佐野 めぐみ¹、下里 柚季¹、御子柴 飛鳥¹、岩谷 舞²、木庭 幸子¹、奥山 隆平¹
¹信州大、²信州大臨床検査部
- O-15 乳房パジェット病との鑑別を要した右胸部乳房外パジェット病の1例
小林 研太¹、橋本 可奈子¹、平井 郁子¹、中村 善雄¹、川井田 みほ²、船越 建¹
¹慶應義塾大、²慶應義塾大病理診断科
- O-16 FoundationOne Liquid CDx で次治療が推奨された頭部血管肉腫の1例
天貝 諒、藤村 卓、神林 由美、大内 謙太郎、玉淵 恵里佳、千葉 広夢、古舘 禎騎、
橋本 彰、浅野 善英
東北大

- O-17* ラムシルマブ投与中に生じた多発性血管拡張性肉芽腫
山本 ちひろ^{1,2}、山本 佳子^{1,2}、山本 剛伸^{1,2}、青山 裕美²
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大
- O-18*† 術中内視鏡を併用し手術した、肛門部粘膜近傍に及ぶ皮膚原発乳房外 Paget 病の 1 例
山田 尚人¹、森 章一郎²、岩田 真衣³、今井 聡子³、村上 佳恵³、横田 憲二³、
秋山 真志³
¹トヨタ記念病院、²豊橋市民病院、³名古屋大
- O-19* 播種性血管内凝固症候群を合併した頭部血管肉腫の 1 例
北村 昇矢¹、面高 俊和¹、高沢 裕子¹、齋藤 奈那¹、小田中 愛子¹、川上 史裕²、
奥山 隆平¹
¹信州大、²信州大血液内科
- O-20† 顔面に腫瘍を形成した AIDS 関連カポジ肉腫の 1 例
脇本 紘子¹、入澤 亮吉¹、堺 則康¹、原田 和俊¹、村松 崇²、木内 英²
¹東京医大、²東京医大臨床検査医学科
- O-21* 集学的治療を行った古典型カポジ肉腫の 1 例
大嶺 卓也、堀川 知久、高橋 健造
琉球大

14:20~15:05 一般演題 4 【毛髪疾患】

座長:伊藤 泰介(浜松医大)
岡本 崇(山梨大)

- O-22 脱毛巢 50% 以上の円形脱毛症に対する ritlecitinib の有効性と安全性: ALLEGRO Phase 2b/3 国際共同試験
伊藤 泰介¹、Brett King²、Xingqi Zhang³、Rodney Sinclair⁴、Robert Wolk⁵、
Dalia Wajsbrod⁵
¹浜松医大、²Yale University School of Medicine, New Haven, CT, USA、
³The First Affiliated Hospital, Sun Yat-sen University, Guangzhou, China、
⁴Sinclair Dermatology, Melbourne, Victoria, Australia、⁵Pfizer Inc., USA
- O-23 難治性円形脱毛症 48 例に対する局所免疫療法—当科 15 年間の SADBE 療法の治療成績—
橋本 喜夫¹、小松 成綱¹、本間 大²
¹JA北海道厚生連旭川厚生病院、²旭川医大
- O-24* 頭部の慢性刺激により生じた後天性結節状裂毛症の 1 例
伊藤 拓、能登 舞、野口 奈津子、河野 通浩
秋田大
- O-25† 末梢血中 B 細胞の IL-10 産生能は円形脱毛症の予後と相関する
松村 裕¹、渡辺 玲²、松岡 悠美³、藤本 学¹
¹大阪大、²大阪大アレルギー免疫疾患統合医療学、³大阪大IFReC皮膚免疫学

- O-26 経口 JAK 阻害薬によって軽快したアトピー性皮膚炎に伴う円形脱毛症の 3 例
増田 遥、辻 学、仲本 すみれ、原口 裕子、伊東 裕美子、中原 真希子、大野 文嵩、
冬野 洋子、伊東 孝通、中原 剛士
九州大

15:20~16:20 スイーツセミナー 2 【UP TO DATE Brodalumab】

座長:五十嵐 敦之 (NTT 東日本関東病院)
佐伯 秀久 (日本医大)

- SS2-1 抗 IL-17 受容体抗体の特性を生かした乾癬治療
福田 桂太郎(慶應義塾大/理化学研究所 IMS 皮膚恒常性研究チーム)
- SS2-2 患者人生を考えた乾癬治療とルミセフの可能性
鎌田 昌洋(帝京大)

共催:協和キリン株式会社

16:35~17:35 イブニングセミナー 2 【患者さんの声に応える地域乾癬診療への貢献】

座長:奥山 隆平 (信州大)
森実 真 (岡山大)

- ES2-1 シン・乾癬治療の地域連携サイクルをまわす!其の壱~紹介する?しない?~
田口 詩路麻(水戸協同病院)
- ES2-2 乾癬センターを軸にした多職種連携による乾癬トータルマネジメント
林 美沙(日本生命病院)

共催:マルホ株式会社/ノバルティス ファーマ株式会社

第 4 会場 2F 中会議室 201

8:50~9:00 開会挨拶 (ビデオ講演)

阿部 理一郎(新潟大)

9:00~10:05 一般演題 5 【水疱症】

座長:泉 健太郎 (北海道大)
遠藤 雪恵 (群馬大)

- O-27[†] 血液浄化療法が有効であったバンコマイシン誘発型 TEN 様線状 IgA 水疱性皮膚症の 1 例
石崎 真由、内山 明彦、西尾 麻由、遠藤 雪恵、安田 正人、茂木 精一郎
群馬大
- O-28[†] 局所的に脱毛が遷延した尋常性天疱瘡の 1 例
小笠原 渚、福山 雅大、山崎 好美、佐藤 洋平、大山 学
杏林大

- 0-29[†] 抗デスモコリン (Dsc) 抗体陽性増殖性天疱瘡
小坂 啓寿¹、遠藤 雪恵¹、土岐 清香¹、岡 愛菜¹、上原 顕仁¹、石川 治¹、古賀 浩嗣²、
石井 文人²、茂木 精一郎¹
¹群馬大、²久留米大
- 0-30[†] 初妊婦に生じた妊娠性類天疱瘡
木村 温子^{1,2}、原田 研²、原 憲司²、滝吉 典子²、千代谷 成史³、中野 創¹、澤村 大輔¹
¹弘前大、²青森県立中央病院、³千代谷皮膚科 青森県青森市
- 0-31[†] 悪性腫瘍切除後に抗体価が低下した水疱性類天疱瘡の 1 例
磯部 里香子¹、下村 麻衣子²、明石 憲佳²、村上 めぐみ¹、天野 友里恵³、
花井 有里子¹、満間 照之¹
¹一宮市立市民病院、²名古屋大、³協立総合病院
- 0-32[†] S 状結腸癌を合併した抗ラミニン 332 粘膜類天疱瘡の 1 例
吉川 未雪¹、原田 研¹、原 憲司¹、滝吉 典子¹、坪田 晶子²、古賀 浩嗣³、石井 文人³
¹青森県立中央病院、²十和田市立中央病院、³久留米大
- 0-33 BP-IgG 刺激に伴う角化細胞のサイトカイン発現の比較
廣保 翔、廣保 葵、鶴田 大輔
大阪公立大

10:05~11:00 一般演題 6 【皮膚炎・アトピー・アレルギー】

座長:三井 広 (山梨大)
高橋 隼也 (東北大)

- 0-34[†] H₂拮抗薬と抗ロイコトリエン薬の 2 剤を同時に抗ヒスタミン剤と併用して治療した慢性蕁麻疹の臨床的検討
三井田 博
新潟県立新発田病院
- 0-35 Pseudo-pautrier-microabscess が目立った痒疹型アトピー性皮膚炎の 1 例
山崎 絵美¹、水芦 政人¹、浅野 善英¹、相場 節也^{1,2}、川上 民裕³
¹東北大、²松田病院 宮城県仙台市、³東北医科薬科大
- 0-36 両側胸鎖関節炎を合併した丘疹紅皮症 (太藤) の 1 例
笠井 愛里、波部 幸司、松島 由明、山中 恵一
三重大
- 0-37[†] 塩基性青 99 によるアレルギー性接触皮膚炎症候群を来した 1 例
岩崎 万里子、小中 美咲、三井 広、福島 有貴、出口 順啓、小川 陽一、島田 眞路、
川村 龍吉
山梨大
- 0-38[†] 結節性痒疹の病変部における Th2 サイトカインおよび IL17 ファミリーの発現パターンの検討
伊藤 崇、山本 俊幸
福島県立医大

- O-39[†] アトピー性皮膚炎に合併した Pork-cat syndrome の 1 例
池田 高治、横山 華英、川上 民裕
東北医科薬科大

11:50~12:50 ランチョンセミナー 4 【改めて考えるアトピー性皮膚炎の外用療法】

座長:鈴木 民夫 (山形大)
天野 博雄 (岩手医大)

- LS4-1 小児アトピー性皮膚炎の診療のポイント
玉城 善史郎(埼玉県立小児医療センター)
- LS4-2 新たな外用剤登場によるアトピー性皮膚炎治療の展望
井川 健(獨協医大)

共催:大塚製薬株式会社

13:00~14:00 一般演題 7 【English Session】

Chair:Akihiko Uchiyama (Gunma Univ.)
Osamu Ansai (Niigata Univ.)

- O-40[†] Severe dermatitis, multiple allergies, and metabolic wasting (SAM) syndrome with peeling skin and palmoplantar keratosis
Yuta Koike¹、Takuya Takeichi²、Norito Ishii³、Tomoka Waseda¹、
Naoya Murayama¹、Masashi Akiyama²、Hiroyuki Murota¹
¹Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan、
²Department of Dermatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan、
³Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine, Fukuoka, Japan
- O-41[†] Using total-body photography images to classify skin type : possibilities and pitfalls
Adam Mothershaw^{1,2}、Brigid Betz-Stablein²、Chantal Rutjes²、Liam J Caffery^{1,2}、
H. Peter Soyer^{2,3}
¹Centre for Online Health, The University of Queensland, Brisbane, QLD, Australia、
²Dermatology Research Centre, The University of Queensland Diamantina Institute, The University of Queensland, Brisbane, QLD, Australia、
³Department of Dermatology, Princess Alexandra Hospital, Brisbane, QLD, Australia
- O-42[†] Neonatal management and characteristic clinical course of epidermolytic ichthyosis.
Sota Itamoto¹、Toshinari Miyauchi¹、Yosuke Mai¹、Toshifumi Nomura²、
Hideyuki Ujiie¹
¹Department of Dermatology, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Japan、
²Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Japan

- O-43[†]** Two cases of motor nerve palsy associated with disseminated herpes zoster
Sayaka Suzuki¹, Osamu Ansal¹, Izumi Takei¹, Kiyoto Kimura¹, Akito Hasegawa¹,
Yuko Tsuchida¹, Kosei Nakamura², Shoko Hongo², Shintaro Tsuboguchi²,
Koji Saji², Masaki Murata³, Riichiro Abe¹
¹Division of Dermatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental
Sciences, Niigata, Japan,
²Department of Neurology Brain Research Institute, Niigata University, Niigata,
Japan, ³Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine,
Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan
- O-44[†]** Change in Total body naevus counts in Queensland adults : A prospective
population-based study
Dilki Jayasinghe¹, Uyen Koh¹, Elsemieke Plasmeijer^{2,3}, Scott W. Menzies⁴,
Joanne F. Aitken⁵, H. Peter Soyer^{6,7}, Monika Janda¹, Adele C. Green^{2,8},
Brigid Betz-Stablein^{2,6}
¹Centre of Health Services Research, Faculty of Medicine, The University of
Queensland, Brisbane, Queensland, Australia,
²Cancer and Population studies, QIMR Berghofer Medical Research Institute, Brisbane,
Queensland, Australia,
³Netherlands Cancer Institute, Department of Dermatology, Amsterdam, The
Netherlands,
⁴Sydney Medical School, The University of Sydney, Camperdown, New South Wales,
Australia, ⁵Cancer Council Queensland, Brisbane, Queensland, Australia,
⁶The University of Queensland Diamantina Institute, The University of Queensland,
Dermatology Research Centre, Brisbane, Queensland, Australia,
⁷Dermatology Department, Princess Alexandra Hospital, Brisbane, Queensland,
Australia,
⁸CRUK Manchester Institute and University of Manchester, Manchester Academic
Health Sciences Centre, Manchester, United Kingdom
- O-45[†]** Barisitinib possibly improves human atopic dermatitis via suppressing IL-22
expression : A single-center cohort study.
Akihiko Uchiyama, Chisako Fujiwara, Yayoi Shibusawa, Sei-ichiro Motegi
Department of Dermatology, Gunma University Graduate school of Medicine, Japan

14:00~15:00 一般演題 8 【角化異常症 1】

座長:本間 大 (旭川医大)
古田 淳一 (筑波大)

- O-46[†] アトピー性皮膚炎を合併した長島型掌蹠角化症
赤坂 英二郎、中野 創、澤村 大輔
弘前大
- O-47^{††} 分子標的薬治療後に生じた Blaschkitis の 1 例
三上 花子^{1,2}、原田 研¹、吉川 未雪¹、原 憲司¹、滝吉 典子¹、岩渕 郁哉³、沼尾 宏⁴
¹青森県立中央病院、²弘前大、³青森県立中央病院泌尿器科、
⁴青森県立中央病院消化器内科
- O-48 インスリン受容体遺伝子に変異を認めたインスリン受容体異常症合併黒色表皮腫の親子例
杉原 夏子¹、宮内 ひとみ¹、中村 幸恵²、澤山 渚³、渡辺 尚⁴、佐藤 篤子¹、
神谷 浩二¹、前川 武雄¹、小宮根 真弓¹、大槻 マミ太郎¹
¹自治医大、²自治医大小児科、³自治医大内分泌代謝科、⁴自治医大産科婦人科
- O-49 I 型点状掌蹠角化症における免疫組織学的検討
角 総一郎、木村 未歩、中野 尚美、杉原 夏子、佐藤 篤子、神谷 浩二、前川 武雄、
小宮根 真弓、村田 哲、大槻 マミ太郎
自治医大
- O-50[†] 常染色体顕性遺伝形式を示す Acral Peeling Skin Syndrome の 1 家系
東野 俊英^{1,2,3}、許斐 麻佑⁴、山崎 雄貴²、屋式 一輝²、千田 聡子²、堀之蘭 弘²、
三浦 義則²
¹国家公務員共済組合連合会三宿病院、²自衛隊中央病院、
³東京大大学院医学系研究科人類遺伝学教室、⁴自衛隊中央病院初任実務研修医官
- O-51[†] 新規 ALOX12B 遺伝子病的バリエントを認めた先天性魚鱗癬様紅皮症の 1 例
前 琴絵¹、梶田 藍¹、野田 達宏²、武市 拓也²、川上 佳夫¹、秋山 真志²、森実 真¹
¹岡山大、²名古屋大

15:20~16:20 スイーツセミナー 3 【アトピー性皮膚炎治療を考える】

座長:茂木 精一郎 (群馬大)
浅野 善英 (東北大)

- SS3-1 アトピー性皮膚炎の病態理解：最新の話
本田 哲也 (浜松医大)
- SS3-2 アトピー性皮膚炎治療 update～成人 AD を中心として～
井川 健 (獨協医大)

共催:鳥居薬品株式会社

| | | |
|------------------------|---|------------------|
| 16:35~17:35 | イブニングセミナー 3 【皮膚疾患の痒みを紐解く ～病態メカニズムと治療のポイント】 | 座長:常深 祐一郎 (埼玉医大) |
| ES3-1 | 痒みのメカニズムとトピックス 端本 宇志(防衛医大) | |
| ES3-2 | 病型分類に基づいた蕁麻疹治療の実践を目指して 谷崎 英昭(関西医大) | |
| 共催:田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社 | | |

第5会場**3F 中会議室 301**

| | | |
|-------------------|---|----------------------------------|
| 8:50~9:00 | 開会挨拶 (ビデオ講演) | |
| | 阿部 理一郎(新潟大) | |
| 9:00~10:15 | 一般演題 9 【感染症】 | 座長:花見 由華 (福島県立医大) 水芦 政人 (東北大) |
| O-52 [†] | 本邦で初めて皮膚より <i>Balamuthia mandrillaris</i> を検出した肉芽腫性アメーバ脳炎の1例 荒木 健 ¹ 、栗山 裕子 ¹ 、渋谷 弥生 ¹ 、安田 正人 ¹ 、横尾 英明 ² 、茂木 精一郎 ¹ ¹ 群馬大、 ² 群馬大大学院医学系研究科病態病理学 | |
| O-53 | 下腿に多発皮下膿瘍を形成した深在性皮膚カンジダ症の1例 片岡 和也 ¹ 、牧野 輝彦 ¹ 、古川 史奈 ¹ 、森 修一 ¹ 、虎井 遼太郎 ¹ 、安澤 数史 ² 、 竹田 公信 ² 、清水 晶 ² 、清水 忠道 ¹ ¹ 富山大、 ² 金沢医大 | |
| O-54 | ネラトンカテーテルを用いた間欠的な洗浄が奏功した癰 高橋 拓矢、芳賀 貴裕 気仙沼市立病院 | |
| O-55 [†] | COVID-19 患者に生じた重症軟部組織感染症の2例 川村 みゆき ¹ 、土居 礼一 ^{1,3} 、添田 麻莉 ^{1,3} 、富永 芳和 ² 、井上 譲 ² 、武藤 一考 ³ 、 名嘉真 武國 ³ ¹ 公立八女総合病院、 ² 公立八女総合病院呼吸器内科、 ³ 久留米大 | |
| O-56 | 両側大腿と手背に限局性の連環状環状紅斑を呈した梅毒の1例 木下 真太郎、山崎 由里子、川島 秀介、松江 弘之 千葉大 | |

- O-57 先天性血友病 B 患者に生じた AIDS 関連の多彩な皮膚症状を呈した 1 例
岡田 寛文、神谷 浩二、佐藤 篤子、前川 武雄、小宮根 真弓、大槻 マミ太郎
自治医大
- O-58 *Trichosporon ovoides* による皮膚深在性真菌症の 1 例
四本 周¹、三井 英俊²、亀井 克彦³
¹みやぎ県南中核病院、²岩手県立胆沢病院、
³千葉大真菌医学研究センター臨床感染症分野
- O-59*† 水痘ワクチン初回接種部位から帯状疱疹様皮疹を生じた乳児の 1 例
須貝 達朗¹、藤田 靖幸¹、山田 壮一²、福士 秀悦²、稲村 衣美¹、畠山 欣也³、
清水 聡子¹
¹市立札幌病院、²国立感染研究所ウイルス第1部、³市立札幌病院小児科
- O-60*† ペットのハリネズミが感染源と考えられた手白癬の 1 例
添田 麻莉、嘉多山 絵理、荒川 正崇、古賀 浩嗣、石井 文人、名嘉真 武國
久留米大

10:15~11:00 一般演題 10 【香粧品研究】

座長:鈴木 民夫 (山形大)

原田 康子 (合同会社シャネル R&I)

- O-61 コロナ禍の衛生マスク長期着用における皮膚性状とその季節変化
中村 智美¹、吉田 浩之²、羽根岡 舞³、中村 俊³、高橋 慶人²
¹花王株式会社スキンケア研究所、²花王株式会社生物科学研究所、
³花王株式会社解析科学研究所
- O-62 改良型 S/O 技術によるビタミン C 及び E 誘導体の経皮吸収促進
宮本 雅義¹、後藤 雅宏²
¹合同会社シャネル R&I、²九州大大学院工学研究院
- O-63 チロシナーゼ依存的なタンパク質結合性の *in vitro* 評価法の開発
森 将人、山地 史哉、豊田 明美
ポーラ化成工業株式会社フロンティアリサーチセンター
- O-64 下唇の赤唇部におけるメラノサイトおよびメラニンの局在
日下 あゆみ¹、飛石 恵¹、安森 春子²、高橋 彩実²、川端 慶吾¹、高橋 慶人¹
¹花王株式会社生物科学研究所、²花王株式会社メイクアップ研究所

11:50~12:50 ランチョンセミナー 5 【メラノーマ薬物療法のトータルケアを考える】

座長:宇原 久 (札幌医大)

竹之内 辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院)

- LS5-1 知識のアップデート、メラノーマの評価、手術、術後補助療法
加藤 裕史 (名古屋市立大)

LS5-2 進行期メラノーマに対する最善の薬物療法を最新知見に基づいて考えてみる
山崎 直也(国立がん研究センター中央病院)

共催:小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:00~14:05 一般演題 11 【薬疹】

座長:藤山 俊晴(浜松医大)
長谷川 瑛人(新潟大)

- O-65[†] エンホルツマブ ベドチンによる中毒性表皮壊死症の1例
小林 彩¹、三村 裕次²、水沢 弘哉²、濱 菜摘³、長谷川 瑛人³、阿部 理一郎³
¹信州上田医療センター、²信州上田医療センター泌尿器科、³新潟大
- O-66 転移性尿路上皮癌に対する抗体薬物複合体 enfortumab vedotin による皮膚障害の1例
長谷川 巧¹、尾山 徳孝¹、長谷川 稔¹、多賀 峰克²
¹福井大、²福井大泌尿器科
- O-67[†] 初回投与後より生じた抗体薬物複合体 enfortumab vedotin による皮膚障害
早川 道太郎¹、馬場 裕子¹、辻 鋼氣¹、河野 通良¹、榊田 司²、高橋 慎一¹
¹東京歯科大市川総合病院、²東京歯科大市川総合病院泌尿器科
- O-68 チアマゾールによる Antithyroid arthritis syndrome の1例
岩田 麻里¹、吉田 諭¹、塩見 亮人²、松本 卓也³、佐山 浩二¹
¹愛媛大、²愛媛大消化器・内分泌・代謝内科学、³愛媛大血液・免疫・感染症内科学
- O-69[†] 免疫チェックポイント阻害薬による Stevens-Johnson 症候群・中毒性表皮壊死症における炎症性バイオマーカーの推移
渡邊 裕子、高村 直子、石川 秀幸、渡邊 友也、金岡 美和、山口 由衣
横浜市立大
- O-70 高度な眼症状がみられた Stevens-Johnson 症候群 (SJS) の1例
辛 和樹¹、田村 崇行¹、平井 由花¹、萩原 愛理奈¹、佐々木 大和¹、西村 望¹、
城内 和史¹、小林 香映¹、渡辺 秀晃²、飯島 正文³、木崎 順一郎⁴、恩田 秀寿⁴、
猪又 直子¹
¹昭和大、²昭和大北部病院、³新百合ヶ丘総合病院 神奈川県川崎市、⁴昭和大眼科
- O-71[†] 免疫チェックポイント阻害薬投与により発症し、潰瘍形成がみられた扁平苔癬様皮疹の1例
山口 文太郎、境井 尚大、和泉 光晃、青木 道、五味 由梨佳、保坂 浩臣、渡辺 秀晃
昭和大横浜市北部病院

14:05~15:05 一般演題 12 【有棘細胞癌、その他】

座長:柳 輝希 (北海道大)
皆川 茜 (信州大)

- O-72 FAM83H の発現低下はケラチン分布の変化を介して皮膚有棘細胞癌の遊走と浸潤を促進する
得地 景子¹、北村 真也¹、前田 拓哉¹、渡部 昌²、畠山 鎮次²、加納 里志³、田中 伸哉⁴、氏家 英之¹、柳 輝希¹
¹北海道大、²北海道大生化学分野、³北海道大耳鼻咽喉科、⁴北海道大腫瘍病理学
- O-73[†] 当院で行っている顔面変形に対する幹細胞付加脂肪移植術について
海野 早織¹、辻 直子¹、成田 圭吾²、波利井 清紀²
¹セルポートクリニック横浜 神奈川県横浜市、²杏林大付属病院形成外科
- O-74^{*} 20 歳代で発癌した先天性線状汗孔角化症の 1 例
樋口 麻那美、富田 茉友香、阿部 佳奈美、瀧浪 紗也子、太田 真由美、延山 嘉眞、朝比奈 昭彦
東京慈恵会医大
- O-75^{*†} 逆行性顔面動脈皮弁を用いて再建した上口唇有棘細胞癌の 1 例
杉原 悟¹、山崎 修²、立花 宏太¹、森実 真¹
¹岡山大、²島根大
- O-76 割れたワイングラスで受傷した頬部異物残留の 1 例
中嶋 悠里、矢富 良寛、清水 智子、中捨 克輝
埼玉病院
- O-77 ケブネル現象により誘発された考えた Sutton 母斑の 1 例
菊池 信之、山本 俊幸
福島県立医大
- O-78 長期入院中の統合失調症患者に対し、外科的治療を行った進行期有棘細胞癌の 1 例
大西 正純¹、佐藤 友利¹、中川 倫代¹、角田 加奈子¹、天野 博雄¹、松下 祐²
¹岩手医大、²岩手医大精神神経科

15:20~16:20 日本皮膚科学会 専門医指導医講習会

座長:石河 晃 (東邦大)
佐山 浩二 (愛媛大)

- 指導医 1 専門医制度の概要と最新情報
石河 晃(東邦大)
- 指導医 2 専門医資格更新要件と最新情報
佐山 浩二(愛媛大)

16:35~17:35 イブニングセミナー 4 【爪白癬 up to date 2022】

座長: 乃村 俊史 (筑波大)

- ES4-1 行動経済学を用いた新しい患者指導
大塚 篤司(近畿大)
- ES4-2 わが国の薬剤耐性白癬の現状
野口 博光(のぐち皮膚科 熊本県上益城郡)

共催: 佐藤製薬株式会社

第 6 会場

3F 中会議室 302A

8:50~9:00 開会挨拶 (ビデオ講演)

阿部 理一郎(新潟大)

9:00~10:00 一般演題 13 【角化異常症 2、その他】

座長: 肥田 時征 (札幌医大)
赤坂 英二郎 (弘前大)

- O-79[†] ウパダシチニブ投与を契機とし乾癬様皮疹が出現した掌蹠膿疱症の 1 例
小山 智史、岩原 邦夫、加賀 麻弥
江東病院
- O-80[†] 出生前に発症した血管型エーラス・ダンロス症候群 (vEDS) の 1 例
神賀 満裕菜、林 周次郎、井川 健
獨協医大
- O-81[†] 頭頂部に生じた、異形紡錘形細胞/多形脂肪腫様腫瘍の 1 例
加古 志織¹、澤田 啓生¹、小林 瑞穂²
¹名古屋市立大西部医療センター、²名古屋市立大西部医療センター病理診断科
- O-82 COVID-19 感染を契機に発症した膿疱性乾癬の 1 例
藤井 建人、赤川 舞、水谷 陽子、周 円、岩田 浩明
岐阜大
- O-83 炎症の抑制が合併症にも有効であった肥厚性皮膚骨膜炎
山本 博紀¹、宮内 ひとみ¹、岡田 寛文¹、神谷 浩二¹、前川 武雄¹、小宮根 真弓¹、
大嶺 謙²、大槻 マミ太郎¹、新関 寛徳³
¹自治医大、²自治医大血液内科、³国立成育医療研究センター
- O-84[†] 新規 STAT1 バリエントによるメンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症 (MSMD) と
診断した BCG 接種後尋常性狼瘡
塩野谷 愛香¹、要藤 裕孝²、肥田 時征¹、石川 亜貴³、長谷川 匡⁴、津川 毅²、宇原 久¹
¹札幌医大、²札幌医大小児科、³札幌医大附属病院遺伝子診療科、⁴札幌医大病理診断科

- 0-85 Thymoma-associated multiorgan autoimmunity の 1 例
 松村 奈津子¹、高田 満喜¹、則川 菜摘¹、石川 真郷¹、平岩 朋子¹、菊池 信之¹、
 花見 由華¹、山本 俊幸¹、岡部 直行²
¹福島県立医大、²福島県立医大呼吸器外科

10:00~11:05 一般演題 14 【代謝異常症、その他】

座長:中野 創 (弘前大)
 林 周次郎 (獨協医大)

- 0-86 急性腓炎に合併した皮下結節性脂肪壊死症の 2 例
 浅川 まりか、三井 広、木下 真直、島田 眞路、川村 龍吉
 山梨大
- 0-87[†] アルコール性慢性腓炎急性増悪に合併した結節性脂肪壊死症の 1 例
 齋藤 尚矢、福井 智久、中野 創、澤村 大輔
 弘前大
- 0-88[†] 高度肥満を伴う慢性腎臓病患者に生じたカルシフィラキシスの 1 例
 三浦 真理子¹、竹尾 直子¹、轟木 麻子¹、生野 知子¹、幸 奈菜²、末永 裕子²、
 縄田 智子²、宇都 翔³、足立 恵理³、加藤 愛子³
¹大分県立病院、²大分県立病院腎臓内科、³大分県立病院形成外科
- 0-89 悪性リンパ腫に急性腎不全を伴い、Calciophylaxis を発症した 1 例
 八尾 祥吾¹、中島 康爾¹、山下 あや¹、福井 智久¹、六戸 大樹¹、中野 創¹、
 澤村 大輔¹、山下 覚²、星 健太郎²、鎌田 耕輔²
¹弘前大、²弘前大血液内科
- 0-90^{††} ヒドロキシクロロキンが有効であった網状紅斑性ムチン沈着症の 1 例
 大塚 麻莉奈¹、田中 美菜穂¹、作田 隆義¹、鈴木 友博¹、新川 宏樹¹、藤尾 由美¹、
 木花 いづみ¹、栗原 佑一¹、田中 諒²
¹平塚市民病院、²国立成育医療研究センター
- 0-91 二期的再建により良好な経過を得られた再発後の小児皮膚石灰沈着症の 1 例
 小林 愛里、古舘 禎騎、岡崎 俊樹、瀬川 優里恵、山崎 絵美、高橋 隼也、浅野 善英
 東北大
- 0-92[†] 過去 13 年間に福島県立医科大学皮膚科を受診したサルコイドーシス 58 例における、
 癒痕浸潤病変の検討
 高田 満喜、山本 俊幸
 福島県立医大

11:50~12:50 ランチョンセミナー 6 【皮膚リンパ腫】

座長:本田 哲也 (浜松医大)
 大塚 幹夫 (福島県立医大)

- LS6-1 疫学調査から見てきた皮膚悪性リンパ腫の新規治療の必要性
 藤井 一恭(鹿児島大)

LS6-2 皮膚T細胞性リンパ腫の治療選択：早期から進行期にかけて選択すべき薬剤は？
藤村 卓(東北大)

共催：株式会社ミノファージェン製薬

13:00~14:00 東部支部企画「研修医、学生からみた皮膚科」

チューター：岸部 麻里（旭川医大）
夏賀 健（北海道大）

※東部支部の各大学推薦による事前登録制です。
当日のご参加はお受けできません。

15:20~16:20 スイーツセミナー 4

座長：阿部 理一郎（新潟大）

SS4 進化する再発性/難治性 CTCL の治療—基礎から臨床へ—
藤村 卓(東北大)

共催：エーザイ株式会社

16:35~17:35 イブニングセミナー 5

【全身性疾患として乾癬を考える～これからの治療はどう変わる？～】

座長：藤田 英樹（日本大）
小宮根 真弓（自治医大）

ES5-1 Psoriatic Disease の病態と治療選択
柴田 彩(東京大)

ES5-2 乾癬の病態と薬剤の作用機序から考えるこれからの病態制御
石塚 洋典(大阪大アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座)

共催：大鵬薬品工業株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

M&M 会場

ホテル日航新潟 4F 朱鷺

16:10~18:10 日本皮膚科学会 キャリア支援委員会企画 メンター&メンティーの相談会 (M&M)

座長：能登 舞（秋田大）

キャリアアップを考える 2022～サブスペシャリティの見つけ方～

東部支部ワーキンググループ

岸部 麻里（旭川医大）、伊藤 明子（ながたクリニック）、菅 裕司（札幌医大）、
能登 舞（秋田大）、皆川 智子（弘前大）